

特別シンポジウム Special Symposium

3月29日（木）10:00～12:00 A会場 高等教育推進機構1F 大講堂

特別シンポジウム CS01

薬学教育モデル・コアカリキュラム及び実務実習モデル・コアカリキュラムの改訂に向けて

オーガナイザー：松木 則夫, 赤池 昭紀

10:00～10:15

CS01-1

薬学教育におけるカリキュラム改革

文部科学省薬学教育専門官 伊東 陽子

10:15～10:30

CS01-2

薬学教育モデル・コアカリキュラム及び実務実習モデル・コアカリキュラムの改訂方針

文部科学省薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂に関する専門研究委員会座長 市川 厚

10:30～10:55

CS01-3

医学教育におけるモデル・コア・カリキュラムの導入と改訂

東京医科歯科大学医歯学教育システム研究センター長 奈良 信雄

10:55～11:05

CS01-4

薬学教育モデル・コアカリキュラム改訂へ向けた日本薬学会の取り組み

日本薬学会薬学教育委員長 松木 則夫

11:05～11:25

CS01-5

各大学及び関係団体への調査結果を踏まえて

日本薬学会薬学教育委員 太田 茂

11:25～11:45

CS01-6

コアカリキュラム改訂の基本方針について

日本薬学会薬学教育委員 赤池 昭紀

11:45～12:00

質疑応答

特別シンポジウム（組織委員会企画） Special Symposia

3月29日（木）9:00～12:00 C会場 高等教育推進機構1F N1

特別シンポジウム OS01

生理活性脂質研究の最前線—基礎から病態まで—

Frontier of Bioactive Lipid Research—From Bench to Clinic—

オーガナイザー：青木 淳賢，木原 章雄

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

東北大院薬 青木 淳賢

9:05～9:30

OS01-1

プロスタグランジン最終合成酵素群の生体内におけるクロストーク

昭和大薬 原 俊太郎

9:30～9:55

OS01-2

分泌型および膜結合型リゾリン脂質代謝酵素の機能

徳島大院薬 徳村 彰

9:55～10:20

OS01-3

リゾホスファチジン酸受容体LPA3の迷走神経を介した心・呼吸抑制作用の解析

東北大院薬 可野 邦行

10:20～10:45

OS01-4

スフィンゴシン1リン酸輸送体の生理的役割の解析

阪大産研 西 毅

10:45～11:10

OS01-5

スフィンゴシン1-リン酸の代謝経路の全容解明

北大院薬 木原 章雄

11:10～11:35

OS01-6

生体膜におけるリン脂質脂肪酸鎖の生物学的重要性

東大院薬 新井 洋由

11:35～12:00

OS01-7

細胞膜リン脂質のスクランブル

京大院医 鈴木 淳

3月29日（木）9:00～12:00 D会場 高等教育推進機構1F N2

特別シンポジウム OS02

創薬に向けた構造生物学

Structural Biology for Drug Development

オーガナイザー：加藤 晃一，前仲 勝実

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

北大院薬 前仲 勝実

9:05～9:30

OS02-1

ライソゾーム病原因タンパク質β-ガラクトシターゼの構造基盤

東大院薬 清水 敏之

9:30～9:55

OS02-2

多剤排出型ABCトランスポーターのX線結晶構造解析

京大院薬 加藤 博章

9:55～10:20 OS02-3	ポリグルタミン結合タンパク質の構造生物学的研究	富山大院医薬 水口 峰之
10:20～10:30	休憩	
10:30～10:55 OS02-4	抗マラリア薬の開発を目指した構造生物学的研究	昭和大薬 田中 信忠
10:55～11:20 OS02-5	GPCRの立体構造解明に向けた戦略：ヒスタミンH1受容体を例に	九大院薬 白石 充典
11:20～11:45 OS02-6	ウイルス感染機構の構造基盤と創薬への展開	北大院薬 前仲 勝実
11:45～12:00	総括	自然科学研究機構／名市大院薬 加藤 晃一

3月29日（木）9:00～12:00 E18会場 高等教育推進機構 E棟3F E308

特別シンポジウム OS03

標的指向化による創薬への革新的アプローチ

An Innovative Approach for Drug Discovery by Targeted Therapy

オーガナイザー：菊池 寛, 加藤 くみ子

9:00～9:05	オーガナイザー挨拶	国立衛研 加藤 くみ子
9:05～9:30 OS03-1	ナノDDS製剤開発に関する動向と評価手法研究	国立衛研 加藤 くみ子
9:30～9:55 OS03-2	4'-チオDNAを用いたRNA創薬	徳島大薬 南川 典昭
9:55～10:20 OS03-3	製薬会社とのライセンス経験から見た抗体医薬開発	イーバック 高田 賢蔵
10:20～10:45 OS03-4	DDSを用いるためのメディシナルケミストと製剤科学者の協力と戦略 英国ファイザー社サンドイッチ研 真野 高司	
10:45～11:10 OS03-5	Experience as a Scientific Entrepreneur: How to Start a Drug Discovery Biotechnology Company Univ. British Columbia Pieter CULLIS	
11:10～11:35 OS03-6	標的治療を目指した革新的DDSへの期待	医薬品医療機器総合機構 森 和彦
11:35～12:00	総括	エーザイ 菊池 寛

3月29日（木） 9:00～12:00 F1会場 高等教育推進機構 S棟1F S1

特別シンポジウム OS04

レドックス制御研究の最先端
Cutting Edge Redox Control Research

オーガナイザー：高橋 和彦, 上原 孝

9:00～9:30

OS04-1

新規有機小分子蛍光プローブの開発に基づく生細胞・動物個体内レドックスシグナル
イメージング

東大院医 浦野 泰照

9:30～10:00

OS04-2

PTENのS-ニトロシル化を介するAktシグナル制御機構

岡山大院医歯薬 上原 孝

10:00～10:30

OS04-3

Gタンパク質のレドックス制御とその病態生理的意義

九大院薬 西田 基宏

10:30～11:00

OS04-4

酸化ストレス応答キナーゼASK1のエピキチン化による活性制御

東大院薬 松沢 厚

11:00～11:30

OS04-5

レドックス修飾タンパク質のリガンド機能

名大院生命農 内田 浩二

11:30～12:00

OS04-6

抗酸化ヘパトカインセレノプロテインPによる運動療法抵抗性の発症

金沢大院医 御簾 博文

3月29日（木） 13:30～16:30 E12会場 高等教育推進機構 E棟3F E310

特別シンポジウム OS05

次世代創薬に向けた新たなストラテジー
Strategies for the Next-Generation Drug Discovery

オーガナイザー：佐藤 薫, 行方 衣由紀

13:30～13:35

Opening remarks

国立衛研 佐藤 薫

13:35～14:05

OS05-1

創薬標的としてのミクログリアの新しい可能性

国立衛研 佐藤 薫

14:05～14:40

OS05-2

ジアシルグリセロールキナーゼの隣β細胞脂質シグナリング制御機能と糖尿病治療標的としての可能性

静岡県大薬 金子 雪子

14:40～15:15

OS05-3

多発性硬化症における軸索再生阻害因子RGMの役割

阪大院医 村松 里衣子

15:15～15:50

OS05-4

肺静脈心筋の電氣的自発活動の発生機序：心房細動治療標的としての可能性

東邦大薬 行方 衣由紀

15:50～16:25	OS05-5	ウイルス宿主相互作用からみた重症型インフルエンザの治療標的	秋田大院医 今井 由美子
16:25～16:30		Closing remarks	東邦大薬 行方 衣由紀

3月30日（金）9:00～12:00 C会場 高等教育推進機構1F N1

特別シンポジウム OS06

免疫応答制御分子研究の最前線
Frontiers in Researches of Immune Regulators

オーガナイザー：西田 圭吾, 松田 正

9:00～9:30	OS06-1	マスト細胞依存的なアレルギー応答におけるアダプター分子 Gab2 の役割	理研RCAI 西田 圭吾
9:30～10:00	OS06-2	B細胞におけるカルシウム流入の生理的役割	阪大免疫学フロンティア研セ 馬場 義裕
10:00～10:30	OS06-3	C型レクチン受容体による免疫応答	九大生体防御医学研 山崎 晶
10:30～11:00	OS06-4	ITAM受容体シグナル伝達と免疫疾患	佐賀大医 原 博満
11:00～11:30	OS06-5	LIM蛋白ファミリーによるTh細胞分化の負の制御機構	理化学研免疫アレルギー科学総合研セ炎症制御研究ユニット 田中 貴志
11:30～12:00	OS06-6	免疫応答と分子イメージング	京大・医・AKプロジェクト 戸村 道夫

3月30日（金）9:00～12:00 D会場 高等教育推進機構1F N2

特別シンポジウム OS07

放射線を利用した画像診断・治療の最前線
Frontiers of Diagnostic Imaging and Therapy Using Radiation

オーガナイザー：久下 裕司, 秋澤 宏行

9:00～9:02		はじめに	北医療大薬 秋澤 宏行
9:02～9:17	OS07-1	治療戦略に役立つ放射性薬剤の開発	北大アイソトープ総合セ 久下 裕司
9:17～9:32	OS07-2	放射性標識核酸誘導体による腫瘍の核医学診断と内用療法	北医療大薬 秋澤 宏行

9:32～10:02 OS07-3	がんのイメージングやアイソトープ治療を目的とする ^{99m}Tc および $^{186/188}\text{Re}$ 標識薬剤の 新たな設計	千葉大院薬 荒野 泰
10:02～10:32 OS07-4	ゼヴァリンの臨床使用と新規RIT研究	富士フイルムRIファーマ 日野 明弘
10:32～11:12 OS07-5	ホウ素中性子捕捉療法の最前線	筑波大 熊田 博明
11:12～11:52 OS07-6	先進的放射線治療におけるPETの役割	北大院医 加藤 徳雄
11:52～12:00	討論と総括	北大アイソトープ総合セ 久下 裕司

3月30日（金）9:00～12:00 E23会場 高等教育推進機構 E棟3F E301

特別シンポジウム OS08

光が切り拓く新しい薬理学

New Pharmacology Opened by “Optogenetics” and “Optical Imaging”

オーガナイザー：山中 章弘, 金田 勝幸

9:00～9:05	オーガナイザー挨拶	北大院薬 金田 勝幸
9:05～9:35 OS08-1	中枢神経ネットワークモデルのオプトジェネティクス（光遺伝学）	東北大院生命科学 八尾 寛
9:35～10:05 OS08-2	生理機能イメージングの深部化と超解像化を目指す新規多光子レーザー顕微鏡	北大電子研 根本 知己
10:05～10:35 OS08-3	イメージングと光操作による大脳運動野神経活動の研究	基礎生物学研 松崎 政紀
10:35～11:05 OS08-4	脳細胞光操作を用いたニューロングリア相互作用の解析	生理学研・脳形態解析研究部門 佐々木 拓哉
11:05～11:30 OS08-5	Optogeneticsを用いた中枢シナプス伝達の経路選択的制御	北大院薬 金田 勝幸
11:30～12:00 OS08-6	オプトジェネティクスを用いた行動制御	生理学研 山中 章弘

3月30日（金）13:30～16:30 C会場 高等教育推進機構1F N1

特別シンポジウム OS09

創薬オープンイノベーションネットワークの構築

Creating an Open Innovation Network to Accelerate Drug Discovery

オーガナイザー：小島 宏建, 有賀 寛芳

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶	東大創薬オープンイノベーションセ	小島 宏建
13:35～13:50	文部科学省挨拶	文部科学省	石井 康彦
13:50～14:10 OS09-1	公的創薬基盤の整備と利用	東大創薬オープンイノベーションセ	岡部 隆義
14:10～14:30 OS09-2	難治性疾患ターゲットに挑戦する北の化合物スクリーニング拠点形成	北大院薬	有賀 寛芳
14:30～14:50 OS09-3	アカデミック発創薬：東北大学の試み	東北大院薬	青木 淳賢
14:50～15:00	休憩		
15:00～15:20 OS09-4	ワンストップ創薬研究・教育拠点の形成：京都大学の取り組み	京大院薬	藤井 信孝
15:20～15:40 OS09-5	「死の谷」を乗り越える橋：大阪大学創薬推進研究拠点の取り組み	阪大院薬	宇野 公之
15:40～16:00 OS09-6	九州大学群拠点の取組	九大院薬	井上 和秀
16:00～16:20 OS09-7	長崎大学アカデミア創薬拠点事業	長崎大院医歯薬	植田 弘師
16:20～16:30	総括と質疑応答	北大院薬	有賀 寛芳

3月30日（金）14:30～17:30 B1会場 学術交流会館2F 講堂

特別シンポジウム OS10

医療イノベーションに向けて日本学術会議からの提言

Report of the Science Council of Japan for the Advancement of Innovation of Medicine

オーガナイザー：橋田 充, 内海 英雄

14:30～15:00	趣旨説明	京大院薬	橋田 充
-------------	------	------	------

15:00～15:30 OS10-1	提言作成の背景と概要	医薬品医療機器総合機構 内海 英雄
15:30～16:00 OS10-2	薬学会の立場から	昭和薬大 西島 正弘
16:00～16:30 OS10-3	規制当局の立場から	厚生労働省 平山 佳伸
16:30～17:00 OS10-4	創薬基盤拠点の形成：日本学術会議による学術の大型施設計画・大規模研究計画	東大院薬 長野 哲雄
17:00～17:30	パネルディスカッション	

3月31日（土）9:00～12:00 C会場 高等教育推進機構1F N1

特別シンポジウム OS11

アルツハイマー病：創薬に向けての新たな展開
New Therapeutic Targets for Alzheimer's Disease

オーガナイザー：駒野 宏人, 森島 真帆

9:00～9:05	オーガナイザー挨拶	岩手医大薬 駒野 宏人
9:05～9:30 OS11-1	神経細胞活動とアルツハイマー病	北大院薬 齋藤 有紀
9:30～9:55 OS11-2	A β 分解システムを利用したアルツハイマー病の創薬	長崎大院薬 岩田 修永
9:55～10:20 OS11-3	A β 変換酵素	岩手医大薬 鄒 鶴
10:20～10:25	休憩	
10:25～10:50 OS11-4	既存薬を利用したアルツハイマー病治療薬の開発	慶應大薬 水島 徹
10:50～11:15 OS11-5	Isoform-dependent functions of apolipoprotein E and Alzheimer disease 国立長寿医療研セ・アルツハイマー病研究部	道川 誠
11:15～11:40 OS11-6	タウを介した神経変性疾患と治療戦略 国立長寿医療研セ・分子基盤研究部	高島 明彦
11:40～12:00	総括	北大院薬 森島 真帆

3月31日(土) 9:00~12:00 B2会場 学術交流会館1F 小講堂

特別シンポジウム OS12

薬学系女性の研究キャリア形成 ~アカデミア・企業・世界を舞台に輝く生き方~

Career Development of Women in Pharmaceutical Sciences—Various Pathes in Academia, Industries and More in the World—

オーガナイザー：南保 明日香, 有賀 早苗

9:00~9:10

オーガナイザー挨拶、シンポジウム開催背景と進行説明

北大院農 有賀 早苗

9:10~9:20

OS12-1

リレー講演「私のキャリア -今日までそして明日から-」①

金沢大院薬 白土 明子

9:20~9:30

OS12-2

リレー講演「私のキャリア -今日までそして明日から-」②

京大院薬 伊藤 美千穂

9:30~9:40

OS12-3

リレー講演「私のキャリア -今日までそして明日から-」③

帝京大薬 根岸 文子

9:40~9:50

OS12-4

リレー講演「私のキャリア -今日までそして明日から-」④

富山大和漢薬研 東田 千尋

9:50~10:00

OS12-5

リレー講演「私のキャリア -今日までそして明日から-」⑤

北大院薬 南保 明日香

10:00~10:10

OS12-6

リレー講演「私のキャリア -今日までそして明日から-」⑥

アスビオファーマ 古谷 真優美

10:10~10:20

OS12-7

リレー講演「私のキャリア -今日までそして明日から-」⑦

資生堂 杉光 則子

10:20~11:00

OS12-8

リレー講演「私のキャリア -今日までそして明日から-」⑧

北大/産業総合研 大塚 榮子

11:00~12:00

パネルディスカッション「女性の活躍促進は薬学研究に必要?プラス?」

一般シンポジウム Symposia

3月29日（木）9:00～12:00 E01会場 高等教育推進機構 E棟2F E214

一般シンポジウム S01

化粧品科学・皮膚科学への薬学からの挑戦 ～若手の視点からの提言～

Development of Pharmaceutical Research for Cosmetics Science and Dermatology

オーガナイザー：山下 浩平，杉野 雅浩

9:00～9:03

overview

阪大院薬 山下 浩平

9:03～9:32

S01-1

神経ペプチドCGRPによる皮膚免疫制御

阪大院薬 三上 統久

9:32～10:01

S01-2

プロスタグランジンE₂はマスト細胞のEP3受容体に作用して脱顆粒を引き起こし皮膚炎症を惹起する

京大院薬 森本 和志

10:01～10:30

S01-3

界面活性剤によって誘発される痒み反応に関する研究

富山大院薬 井浪 義博

10:30～10:59

S01-4

安全なナノ化粧品の開発に向けたナノマテリアルの安全性評価

阪大院薬 吉田 徳幸

10:59～11:28

S01-5

皮膚に浸透する物質の物理化学的パラメータを用いた有効性・安全性評価

城西大薬 押坂 勇志

11:28～11:57

S01-6

紫外線に対するHeat Shock Protein 70の効果と化粧品への応用

熊本大院薬 松田 実

11:57～12:00

総括

城西大薬 杉野 雅浩

3月29日（木）9:00～12:00 E23会場 高等教育推進機構 E棟3F E301

一般シンポジウム S02

ウイルス性肝炎と肝がんの撲滅を目指した研究最前線

Cutting-Edge Research for Eradication of Viral Hepatitis and Liver Cancer

オーガナイザー：八木 清仁，立野 知世

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

阪大院薬 八木 清仁

9:05～9:35

S02-1

C型肝炎の治療、発癌に関連する因子の検討

広島大院医 茶山 一彰

9:35～9:55

S02-2

ヒト肝細胞キメラマウスを用いた抗肝炎ウイルス薬効評価系の開発

フェニックスバイオ 立野 知世

9:55～10:15 S02-3	ウイルス性肝炎および肝がん治療を目的としたインターフェロン遺伝子デリバリー	京大院薬 高倉 喜信
10:15～10:45 S02-4	肝硬変に対するsiRNA療法	札幌医大 新津 洋司郎
10:45～11:15 S02-5	C型肝炎ウイルスの増殖と病原性に関する宿主因子	阪大微研 松浦 善治
11:15～11:35 S02-6	ヒトiPS細胞由来肝細胞を利用したC型肝炎ウイルスの複製・感染評価	阪大院薬 八木 清仁
11:35～11:55 S02-7	ウイルス性肝炎と生体防御機能 ー天然物質を利用したウイルス性肝炎対策	富山大院薬 林 京子
11:55～12:00	総括	フェニックスバイオ 立野 知世

3月29日（木）9:00～12:00 E12会場 高等教育推進機構 E棟3F E310

一般シンポジウム S03

元素の体内動態・蓄積を考える：天然元素と放射性元素の話題から

Discussion on Element Metabolism and Store: Topics on Natural and Radio Elements

オーガナイザー：小谷 明, 桜井 弘

9:00～9:05	オーガナイザー挨拶	京都薬大名誉 桜井 弘
9:05～9:30 S03-1	必須元素の体内動態と蓄積：鉄、銅、亜鉛の話題から	京都薬大名誉 桜井 弘
9:30～9:55 S03-2	有害微量元素に対する暫定耐容週間摂取量の変更	静岡県大食品栄養 米谷 民雄
9:55～10:20 S03-3	Pt, Zn含有医薬品から見た元素の体内動態	金沢大院薬 小谷 明
10:20～10:45 S03-4	放射性I, Cs, Srの体内動態：放射線被ばくに関連して	京大院薬 佐治 英郎
10:45～11:10 S03-5	U, Puによる体内汚染と生体影響	長崎大院医歯薬 中山 守雄
11:10～11:30 S03-6	放射性医薬品による被曝について	金沢大院薬 小川 数馬
11:30～12:00	総合討論	

3月29日(木) 9:00~12:00 F2会場 高等教育推進機構 S棟2F S2

一般シンポジウム S04

有機合成化学の若い力：創薬を支える有機化学のフロンティア

Young Challengers in Synthetic Organic Chemistry: Frontier of Organic Chemistry Supporting Medicine

オーガナイザー：市川 聡, 穴田 仁洋, 横島 聡

9:00~9:05

オーガナイザー挨拶

北大院薬 市川 聡

9:05~9:25

S04-1

準安定型配位を基盤とする配位子開発と触媒反応への適用

長崎大院医歯薬 栗山 正巳

9:25~9:45

S04-2

金属酸化物を活用する新規酸化反応システムの開発と応用

近畿大薬 濱本 博三

9:45~10:05

S04-3

パラジウム触媒を用いたプロパルギルエステルと求核剤の反応による環状化合物の選択的合成

徳島大院薬 吉田 昌裕

10:05~10:25

S04-4

固体NMRを用いた天然物の作用構造研究

阪大院理 松岡 茂

10:25~10:45

S04-5

ピリジン環の還元的アシル化によるキノリジジン骨格構築法の開発

京大院薬 塚野 千尋

10:45~11:05

S04-6

代謝安定型ガングリオシド GM3 アナログの合成と生物活性

理化学研基幹研 平井 剛

11:05~11:25

S04-7

Bisubstrate Nucleoside Inhibitors of the Biotin Protein Ligase from *Mycobacterium tuberculosis*

ミネソタ大 Courtney ALDRICH

11:25~11:45

S04-8

非リン酸型S1P1アゴニストの合成研究

第一三共機能分子第一研 浅野 正義

11:45~12:00

総括

東大院薬 横島 聡

3月29日(木) 9:00~12:00 B2会場 学術交流会館1F 小講堂

一般シンポジウム S05

大規模データをどのように今後の医薬品の安全性・有効性に活用すべきか

Future Utilization of Large Databases for Safety and Effectiveness of Medicine

オーガナイザー：森川 馨, 岡本 悦司

9:00~9:10

はじめに

国立衛研・安全情報部 森川 馨

9:10~9:40

S05-1

レセプト電子化の状況とナショナルデータベースの活用方向

厚労省・保険システム高度化推進室 北澤 潤

9:40～10:05 S05-2	大規模データから得られた市販後医薬品安全性のエビデンス（2011年度） 国立衛研・安全情報部 天沼 喜美子
10:05～10:20 S05-3	市販後医薬品の安全性研究に用いられている海外の大規模データベースとリンケージ 国立衛研・安全情報部 太田 有子
10:20～10:50 S05-4	大規模副作用報告データベースを用いた医薬品安全性情報の探索的データ解析 国立衛研・安全情報部 森川 馨
10:50～11:20 S05-5	医薬品有効性・安全性に関わるデータベースからの知識発見 統計数理研 椿 広計
11:20～11:50 S05-6	ナショナルデータベースと薬剤疫学研究への活用可能性 国立保健医療科学院・医療福祉サービス研究部 岡本 悦司
11:50～12:00	総合討論

3月29日（木）13:30～15:30 C会場 高等教育推進機構1F N1

一般シンポジウム S06

ミトコンドリアへの薬物の作用と創薬について考える

Importance of the Studies on the Drug Actions to the Mitochondria for the Future Drug Developments

オーガナイザー：篠原 康雄, 大倉 一人

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶 徳島大疾患ゲノム研 篠原 康雄
13:35～13:53 S06-1	シナプス小胞のH ⁺ 勾配形成におけるミトコンドリアの役割 東京農工大院工 太田 善浩
13:53～14:11 S06-2	化学療法剤の標的としてのミトコンドリア 新潟薬大薬 皆川 信子
14:11～14:29 S06-3	プロテオミクスで解き明かすミトコンドリアからのシトクロムc放出機構 徳島大疾患ゲノム研 山本 武範
14:29～14:47 S06-4	DJ-1のミトコンドリアにおける機能 北大院薬 仁木（高橋） 加寿子
14:47～15:05 S06-5	ミトコンドリア標的型DDSが拓くミトコンドリア創薬への道 北大院薬 山田 勇磨
15:05～15:23 S06-6	細胞の生死を制御する有機小分子の合成と生物活性 九大先導研 新藤 充
15:23～15:30	総合討論 鈴鹿医療大薬 大倉 一人

3月29日（木）13:30～16:30 D会場 高等教育推進機構1F N2

一般シンポジウム S07

新時代の薬剤師に望まれる新たな臨床能力とその学習モデルの提案
－チーム医療と地域医療における責任ある臨床判断、臨床技能の学習－
Clinical Skills and Education Models for New Age Pharmacists

オーガナイザー：木内 祐二，木津 純子

13:30～13:40

オーガナイザー挨拶

昭和大薬 木内 祐二

13:40～14:00
S07-1

新薬学教育への期待

文部科学省 大林 真幸

14:00～14:30
S07-2

SP参加型PBLチュートリアルによる統合型臨床対応能力の醸成

北海道薬大 野呂瀬 崇彦

14:30～15:00
S07-3

薬剤師による臨床判断と新しい臨床技能を育てるアドバンスト学部教育カリキュラム

昭和大薬 木内 祐二

15:00～15:30
S07-4

薬学臨床技術導入学の実践を目指したベッドサイド実習とアドバンスト OSCE トライアルの実施

九州保福大薬 徳永 仁

15:30～16:15

総合討論

16:15～16:30

総括

慶應大薬 木津 純子

3月29日（木）13:30～15:30 E23会場 高等教育推進機構 E棟3F E301

一般シンポジウム S08

抗体工学による次世代バイオ創薬
Antibody Engineering for Next-Generation Biomedicine Development

オーガナイザー：角田 慎一，八木 秀樹

13:30～13:35

オーガナイザー挨拶

医薬基盤研 角田 慎一

13:35～13:58
S08-1

バイオ医薬品の開発に資するプロテオーム解析

医薬基盤研 鎌田 春彦

13:58～14:21
S08-2

薬剤運搬に適した腫瘍標的化抗体のスクリーニング法と創薬シーズ開発

東洋大理工 加藤 和則

14:21～14:44
S08-3

複数回膜貫通タンパク質に対する効率的モノクローナル抗体の作製

近畿大薬 八木 秀樹

14:44～15:07 S08-4	次世代抗体医薬：立体構造規制ペプチド・ライブラリーを用いた分子標的ペプチド（マイクロ抗体）の創出	大阪府大院理 藤井 郁雄
15:07～15:30 S08-5	最近の癌抗体療法の話と今後の展望	協和発酵キリン バイオ医薬研 中村 和靖

3月29日（木）13:30～16:30 E18会場 高等教育推進機構 E棟3F E308

一般シンポジウム S09

違法ドラッグ（いわゆる脱法ドラッグ）から指定薬物へ ～検査から規制へのアプローチ～
From an Illegal Drug (So-Called Non-Medically Used Psychoactive Drug) to the Designated Substance (Shitei-Yakubutsu) Controlled by the Pharmaceutical Affairs Law in Japan
—Approach From the Laboratory Examination to the Regulation—

オーガナイザー：佐藤 かな子, 小島 尚

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶	東京都健安研 佐藤 かな子
13:35～13:55 S09-1	東京都における違法ドラッグ対策の現状と今後の課題	東京都福祉保健局 阿部 哲也
13:55～14:15 S09-2	違法ドラッグの理化学検査の現状と課題	千葉衛研 長谷川 貴志
14:15～14:35 S09-3	違法ドラッグの高感度選択的分析法の開発を目指して	静岡県大薬 豊岡 利正
14:35～14:45	質問、休憩	
14:45～15:05 S09-4	コンピュータシミュレーションによる違法ドラッグの活性予測	国立衛研 栗原 正明
15:05～15:25 S09-5	違法ドラッグ生体影響試験の開発～ <i>in vitro</i> 試験系～	東京都健安研 佐藤 かな子
15:25～15:45 S09-6	違法ドラッグ生体影響試験の開発～ <i>in vivo</i> 試験系～	東京都健安研 小縣 昭夫
15:45～15:55	質問、休憩	
15:55～16:15 S09-7	違法ドラッグを取り巻く国内外における現状と規制について	国立衛研 花尻（木倉） 瑠理
16:15～16:30	総括	帝京科大医療科学 小島 尚

3月29日(木) 13:30~15:30 F1会場 高等教育推進機構 S棟1F S1

一般シンポジウム S10

小胞体ストレスと疾患—新規薬物探索のためのアプローチ—
ER Stress and Diseases—Approach for the Search of the New Drug—

オーガナイザー：原 英彰, 今泉 和則

13:30~13:35

オーガナイザー挨拶

岐阜薬大 原 英彰

13:35~14:00
S10-1

小胞体ストレスを「より簡便」に検出する方法

群馬大・先端ユニット 岩脇 隆夫

14:00~14:25
S10-2

SOD1-Derlin-1 結合を介した小胞体ストレスの生理的・病理的意義

東大院薬 西頭 英起

14:25~14:50
S10-3

網膜疾患における小胞体ストレスの関与と新規治療戦略

岐阜薬大 嶋澤 雅光

14:50~15:15
S10-4

生体機能制御における小胞体ストレス応答の役割

広島大院医歯薬 今泉 和則

15:15~15:30

総括

広島大院医歯薬 今泉 和則

3月29日(木) 13:30~16:30 F2会場 高等教育推進機構 S棟2F S2

一般シンポジウム S11

天然物化学の新しい潮流
Current Natural Products Chemistry

オーガナイザー：阿部 郁朗, 脇本 敏幸

13:30~13:32

オーガナイザー挨拶

東大院薬 阿部 郁朗

13:32~14:02
S11-1

未利用遺伝子のエピジェネティックな発現制御を介する糸状菌二次代謝物の創生

東北大院薬 大島 吉輝

14:02~14:32
S11-2

生体膜を解析する化学遺伝学

京大院薬 西村 慎一

14:32~14:57
S11-3

海綿由来細胞毒性物質、カリクリンAの生合成遺伝子クラスターの探索

東大院薬 脇本 敏幸

14:57~15:27
S11-4

海綿由来興奮性アミノ酸ダイシハーベイン

北大院水産 酒井 隆一

15:27~15:57
S11-5

糸状菌 *Phomopsis amygdali* が生産するフシコクシン生合成マシナリーの解明と応用

北大院工 大利 徹

15:57～16:27 S11-6	苔類：化学多様性・生物活性・ケモシステマテイクス	徳島文理大薬 浅川 義範
16:27～16:30	総括	東大院薬 脇本 敏幸

3月29日（木）15:30～17:30 C会場 高等教育推進機構1F N1

一般シンポジウムS12

メタロミクス研究の新展開 —金属元素の1細胞分析から疾患との関連まで—

New Approaches in Metallomics —From Single-Cell Analysis of Metals to Metal-Related Diseases

オーガナイザー：姫野 誠一郎，榎本 秀一

15:30～15:50 S12-1	単一酵母細胞中微量元素の高感度多元素分析	産総研計測標準 稲垣 和三
15:50～16:20 S12-2	イネヒ素とカドミウム吸収の分子機構	岡山大植物研 馬 建鋒
16:20～16:40 S12-3	膜結合型ユビキチンリガーゼMARCH8によるトランスフェリン受容体ダウンレギュレーションの分子機構	九大院薬 藤田 英明
16:40～17:00 S12-4	ジンクフィンガー型人工転写因子の創製と細胞機能の制御	京大化研 今西 未来
17:00～17:30 S12-5	亜鉛枯渇時に働く小胞体ストレス誘導スイッチとしてのSOD1の新規機能	東大院薬 一條 秀憲

3月29日（木）15:30～17:30 E23会場 高等教育推進機構 E棟3F E301

一般シンポジウムS13

革新的バイオ医薬品：研究開発と評価科学の最新動向

The Latest Trends in Research, Development and Regulatory Science for Innovative Biopharmaceuticals

オーガナイザー：川崎 ナナ，渡部 一人

15:30～15:36 S13-1	バイオ医薬品開発動向と課題	国立医薬品食品衛生研 川崎 ナナ
15:36～16:04 S13-2	コメ型経口ワクチンMucoRice－CTBの研究開発	東大医科学研 幸 義和
16:04～16:32 S13-3	がんを治せる抗がん免疫アジュバントの開発	北大院医 瀬谷 司
16:32～17:00 S13-4	筋ジストロフィー新規治療法開発の最前線	国立精神・神経医療研セ 武田 伸一

17:00～17:15 S13-5	抗体医薬品の評価科学	国立医薬品食品衛生研 石井 明子
17:15～17:30 S13-6	バイオ医薬品の非臨床安全性評価	中外製薬 渡部 一人

3月30日（金）9:00～12:00 E01会場 高等教育推進機構 E棟2F E214

一般シンポジウムS14

実務実習モデル・コアカリキュラムに準拠した実習の成果と課題

Achievements and Issues of the Clinical Clerkship in Relation with the Model-Core Curriculum

オーガナイザー：白幡 晶, 望月 正隆, 山元 俊憲, 須田 晃治

9:00～9:05	オーガナイザー挨拶	城西大薬 白幡 晶
9:05～9:10	文部科学省挨拶	文科省 大林 真幸
9:10～9:15	厚生労働省挨拶	厚労省 山本 史
9:15～10:00 S14-1	【セッション1】特別講演 「医学教育における臨床実習の考え方と薬学教育6年制実務実習への期待」	高知医療再生機構 倉本 秋
10:00～11:20 S14-2	【セッション2】実務実習アンケート／ワークショップ結果（成果の確認と問題提起）	
	10:00～10:15 薬局実習アンケート	日薬 高橋 寛
	10:15～10:30 病院実習アンケート	日病薬 平井 みどり
	10:30～10:50 病院・薬局実習アンケート（地区調整機構）	昭和薬大 戸田 潤
	10:50～11:05 薬学教育協議会アンケート	城西大薬 白幡 晶
	11:05～11:20 全国学生合同ワークショップ	福山大薬 吉富 博則
11:20～11:55	討議	
11:55～12:00	実務実習の充実化に向けて（総括）	東京理大薬 望月 正隆

3月30日（金）9:00～11:00 E18会場 高等教育推進機構 E棟3F E308

一般シンポジウムS15

ナノDDSを基盤とした次世代創薬への道～萌芽的研究を目指して

Challenges and New Directions for Next-Generation DDS Research Based on Nano-Technology

オーガナイザー：石井 貴之, 櫻井 遊

9:00～9:05		
9:05～9:27 S15-1	リアルタイム生体内共焦点レーザー顕微鏡を用いたDDSの動態評価法	東大院工 野本 貴大

9:27～9:49 S15-2	多糖誘導体を用いた新規なpH応答性リポソームの構築とがん免疫治療への応用	阪府大院工 田島 直樹
9:49～10:11 S15-3	siRNA搭載pH応答性MENDの構築とin vivoへの応用	北大院薬 佐藤 悠介
10:11～10:33 S15-4	後眼部指向型核酸封入りリポソーム点眼剤の設計	東京薬大薬 土屋 智裕
10:33～10:55 S15-5	リポソームDDS技術を応用した脳虚血/再灌流障害治療法の開発	静岡県大院薬 石井 貴之
10:55～11:00	総括	北大院薬 櫻井 遊

3月30日（金）9:00～12:00 E12会場 高等教育推進機構 E棟3F E310

一般シンポジウムS16

先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発

Collaborative Development of Advanced Practical Education Program to Train Pharmacists with Leadership

オーガナイザー：平田 收正, 小澤 光一郎, 小林 資正

9:00～9:05	開会の辞	阪大院薬 小林 資正
9:05～9:15	文部科学省から	文部科学省高等教育局 伊東 陽子
9:15～10:05 S16-1	臨床実習を引き受ける側からの期待と確信	昭和大医 中島 宏昭
10:05～10:15 S16-2	国立大学薬学部14校の連携による「先導的薬剤師養成に向けた実践的アドバンスト教育プログラムの共同開発」の実施	阪大院薬 小林 資正
10:15～10:35 S16-3	国立大学における「実践的医療薬学教育プログラム」の開発	長崎大院医歯薬 中嶋 幹郎
10:35～10:55 S16-4	先導的薬剤師養成を目指した長期課題研究及びアドバンスト教育プログラムの実施状況	岡山大薬 波多野 力
10:55～11:15 S16-5	PBLチュートリアル教育プログラムの現状と取り組み	京大院薬 赤池 昭紀
11:15～11:35 S16-6	実務実習における教育評価法プログラムの開発に向けて—現状と課題—	徳島大院薬 滝口 祥令
11:35～11:55	総合討論	
11:55～12:00	閉会の辞	広島大院医歯薬 小澤 光一郎

3月30日（金）9:00～12:00 F1会場 高等教育推進機構 S棟1F S1

一般シンポジウム S17

創薬を革新するプロセス化学

Process Chemistry to Innovate Drug Discovery

オーガナイザー：鴻池 敏郎, 新藤 充

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

九大先導研 新藤 充

9:05～9:35
S17-1

アンスラサイクリン系抗がん剤塩酸アムルピシンのプロセス開発

大日本住友製薬プロセス化学研 高橋 和彦

9:35～10:05
S17-2

CF₂骨格を有するプロスタノイド「タフルプロスト」の開発研究

旭硝子 松村 靖

10:05～10:35
S17-3

新規抗菌剤の開発を指向した天然物の単純化プロセス

北大院薬 市川 聡

10:35～10:45

休息

10:45～11:20
S17-4

RCM反応を鍵反応とした合成プロセス開発

グラクソスミスクライン API化学・分析部 松橋 速生

11:20～11:55
S17-5

一電子ドナー添加による不均一系白金族触媒の活性化とプロセス化学的展開

岐阜薬大 佐治木 弘尚

11:55～12:00

総括

塩野義製薬CMC研 鴻池 敏郎

3月30日（金）9:00～12:00 F2会場 高等教育推進機構 S棟2F S2

一般シンポジウム S18

薬学における生命指向型化学（創薬研究の先駆的チャレンジと新しい創薬への展望）

Chemical Biology for Pharmaceutical Sciences (Novel Approach and Perspective for Drug Discovery)

オーガナイザー：大石 真也, 梅澤 直樹

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

京大院薬 大石 真也

9:05～9:35
S18-1

メタスチン/キスペプチンの生理機能と創薬研究

武田薬品工業 大瀧 徹也

9:35～10:05
S18-2

エピジェネティクス阻害剤開発のための新しいケミカルツール

理研・SSBC 梅原 崇史

10:05～10:35
S18-3

アステラス製薬におけるSBDD/Fragment Evolutionを用いた創薬

アステラス製薬 寺坂 忠嗣

10:35～11:05 S18-4	STAT3 二量化阻害剤の創製と構造活性相関	静岡県大院薬 松野 研司
11:05～11:35 S18-5	治験におけるイメージングバイオマーカーの期待とチャレンジ	田辺三菱製薬 後藤 信治
11:35～11:55 S18-6	γ -セクレターゼを阻害するフォルダマー：開発と展開	名市大院薬 梅澤 直樹
11:55～12:00	総括	名市大院薬 梅澤 直樹

3月30日（金）13:30～15:30 D会場 高等教育推進機構1F N2

一般シンポジウム S19

酵素は何をしているのか？ 新世紀の科学が解き明かす分子メカニズム
What Does an Enzyme Do?

オーガナイザー：常盤 広明，北浦 和夫

13:30～13:32	オーガナイザー挨拶	立教大理 常盤 広明
13:32～14:00 S19-1	二次代謝酵素の機能制御	東大院薬 阿部 郁朗
14:00～14:30 S19-2	量子化学計算による酵素の反応解析	九大先導物化研 吉澤 一成
14:30～15:00 S19-3	FMO法によるタンパク質-リガンド複合体の構造と結合エネルギー計算	京大院薬 北浦 和夫
15:00～15:30 S19-4	新規ヒト膜結合型ビタミンK2合成酵素UBIAD1：創薬の新たな標的となりうるか	神戸薬大 岡野 登志夫

3月30日（金）13:30～16:30 E01会場 高等教育推進機構 E棟2F E214

一般シンポジウム S20

6年制薬学教育プログラムの第三者評価～トライアルから本評価へ～
Evaluation of Pharmaceutical Education Programs by Japan Accreditation Board for
Pharmaceutical Education

オーガナイザー：井上 圭三，富士 薫，小林 静子，中村 明弘

13:30～13:35	本シンポジウムの趣旨	昭和大薬 中村 明弘
13:35～13:45 S20-1	薬学教育第三者評価体制の構築	帝京大薬 井上 圭三

13:45～14:35 S20-2	トライアル評価の概要 ～薬科大学の立場から～ ～私立総合大学の立場から～ ～国立大学の立場から～	阪大院薬 平田 收正 北海道薬大 市原 和夫 名城大薬 長谷川 洋一 岡山大院医歯薬 黒崎 勇二
14:35～14:55	トライアル評価に関する質疑応答	
14:55～15:15 S20-3	「実施要綱～本評価版～」の概要	広島大院医歯薬 小澤 光一郎
15:15～15:30 S20-4	「評価基準～本評価版～」の概要	昭和大薬 中村 明弘
15:30～15:40 S20-5	評価に関するスケジュール	薬学教育評価機構 小林 静子
15:40～15:55	評価基準・実施要綱に関する質疑応答	
15:55～16:25 S20-6	分野別評価の意義と役割～改善・向上に資する評価とするために～	立命館大 山田 勉
16:25～16:30	総括	薬学教育評価機構 富士 薫

3月30日（金）13:30～15:30 E23会場 高等教育推進機構 E棟3F E301

一般シンポジウム S21

イメージングより明らかにされたGタンパク質共役型受容体のダイナミクス
Dynamics of G Protein-Coupled Receptors Revealed from Imaging Techniques

オーガナイザー：黒瀬 等, 平澤 明

13:30～13:55 S21-1	FRETによる受容体活性化過程の可視化	生理学研 立山 充博
13:55～14:20 S21-2	GPCRのモノマー・ダイマー動的平衡：1分子イメージングによるダイマーの直接観察	京大再生研 笠井 倫志
14:20～15:45 S21-3	タグ・小分子プローブペアを用いた膜タンパク質受容体の特異的ラベル化	九大院薬 王子田 彰夫
14:45～15:05 S21-4	薬物スクリーニングへのイメージング技術の応用	京大院薬 平澤 明
15:05～15:25 S21-5	受容体シグナリングにおけるイメージング技術の適用	九大院薬 仲矢 道雄
15:25～15:30	総括	

3月30日（金）13:30～16:30 E18会場 高等教育推進機構 E棟3F E308

一般シンポジウム S22

創薬シーズを臨床に繋げる ～アカデミア発の創薬の実現に向けて～

How Can We Tie Drug Development Seeds to Clinical ? ～For Succeeding in Drug Discovery by Academia～

オーガナイザー：北條 泰輔, 成田 昌稔

13:30～13:35

オーガナイザー挨拶

大阪市大院医 北條 泰輔

13:35～13:55

S22-1

PMDAで新たに開始した薬事戦略相談事業について

医薬品医療機器総合機構 益山 光一

13:55～14:15

S22-2

分子イメージングを活用する早期・探索的臨床研究

理研分子イメージング科学研セ 渡辺 恭良

14:15～14:35

S22-3

iPS細胞 ～臨床応用への課題～

京大 iPS 細胞研 青井 貴之

14:35～14:55

S22-4

東大病院におけるアカデミア主導の臨床開発の取組みと課題

東大病院臨床研究支援セ 荒川 義弘

14:55～15:15

S22-5

国立循環器病研究センターにおける早期・探索的臨床試験の取組みと課題

国立循環器病研セ 山本 晴子

15:15～15:35

S22-6

アカデミア発の創薬への期待

製薬協医薬品評価委員会 稲垣 治

15:35～15:40

休憩

15:40～16:20

パネルディスカッション

16:20～16:30

総括

医薬品医療機器総合機構 成田 昌稔

3月30日（金）13:30～16:30 E12会場 高等教育推進機構 E棟3F E310

一般シンポジウム S23

環境化学物質曝露で生じる細胞応答および有害反応の分子メカニズムを探る

Elucidating Molecular Mechanisms for Cellular Responses and Toxicological Consequences Caused

by Exposure to a Variety of Environmental Chemicals

オーガナイザー：三浦 高, 杜 可

13:30～13:35

オーガナイザー挨拶

東北大院薬 杜 可

13:35～14:05

S23-1

化学物質による肝肥大誘発とNMDA型グルタミン酸受容体2Cサブユニット発現との関わり

静岡県大薬 池田 絢香

14:05 ~ 14:35 S23-2	有機スズによるカルシウムを介した小胞体ストレス誘導メカニズムの解明 広島大薬 磯村 緑
14:35 ~ 15:05 S23-3	新規カドミウム毒性軽減因子としてのユビキチンリガーゼFBXO6の機能解析 東北大院薬 杜 可
15:05 ~ 15:35 S23-4	AhR 依存的/非依存的経路を介した2, 3, 7, 8-tetrachlorodibenzo-p-dioxinの作用 岐阜薬大 吉岡 弘毅
15:35 ~ 16:05 S23-5	タンパク質の親電子修飾の解除に係るグルタチオンの新たな機能 筑波大人間総合科学 三浦 高
16:05 ~ 16:30	総括 筑波大人間総合科学 三浦 高

3月30日 (金) 13:30~16:30 F1会場 高等教育推進機構 S棟1F S1

一般シンポジウム S24

ナノサイズの分子設計：診断・創薬へのアプローチ

Nano-Sized Molecule: New Approach for Diagnosis and Drug Discovery

オーガナイザー：阿部 洋, 水上 進

13:30 ~ 13:35	オーガナイザー挨拶 理研、JST さきがけ 阿部 洋
13:35 ~ 14:00 S24-1	ナノプローブ設計に基づく生体機能解析技術の開発 阪大院工 水上 進
14:00 ~ 14:25 S24-2	近赤外励起ナノ蛍光体のバイオメディカルイメージング応用 東京理大基礎工 曾我 公平
14:25 ~ 14:50 S24-3	金ナノロッドと近赤外光を組み合わせた新しい治療システムの開発 九大院工 新留 琢郎
14:50 ~ 15:00	休憩
15:00 ~ 15:25 S24-4	ナノ構造化RNAを用いるRNA干渉法 理研、JST さきがけ 阿部 洋
15:25 ~ 15:50 S24-5	腫瘍内微小環境の能動的制御に基づくsiRNAデリバリー技術の開発とがん治療への展開 徳島大院HBS 石田 竜弘
15:50 ~ 16:15 S24-6	コラーゲン3重らせんを模倣するペプチドの創薬およびバイオマテリアルへの応用 早稲田大先進理工 小出 隆規
16:15 ~ 16:30	総括 阪大院工 水上 進

3月30日(金) 13:30~16:30 F2会場 高等教育推進機構 S棟2F S2

一般シンポジウム S25

ナノマテリアルの開発・安全性評価の最前線~産官学の取組み~

Recent Topics on Development of Nanomaterials and Nano-Safety Science

オーガナイザー：堤 康央, 吉岡 靖雄

13:30~13:33 S25-1	Overview ~ナノマテリアルの開発・安全性評価の最前線~	阪大院薬 堤 康央
13:33~14:02 S25-2	国研の取組：ナノカーボンのドラッグデリバリー応用可能性	産総研 湯田坂 雅子
14:02~14:31 S25-3	企業の取組：ナノマテリアルの安全性に関する日化協のグローバルな取り組み	日化協 庄野 文章
14:31~15:00 S25-4	行政の取組：工業ナノ材料による環境汚染を通じた健康リスクの評価/ 管理のあり方と考慮事項	経済産業省 及川 信一
15:00~15:29 S25-5	大学の取組：ナノマテリアルの安全性評価と安全なナノマテリアルの開発支援 ~ナノ安全科学研究の現状と今後~	阪大MEIセ 吉岡 靖雄
15:29~15:58 S25-6	国研の取組：健康影響評価指針の国際動向について	国立衛研 広瀬 明彦
15:58~16:27 S25-7	行政の取組：ナノマテリアルに関する厚生労働省の取組	厚生労働省 大久保 貴之
16:27~16:30 S25-8	Conclusion ~ナノマテリアルの開発・安全性評価の将来展望~	阪大MEIセ 吉岡 靖雄

3月31日(土) 9:00~12:00 D会場 高等教育推進機構1F N2

一般シンポジウム S26

薬学出身者が活躍する医療機器産業及び行政でのレギュラトリーサイエンスの実践

Practice of Regulatory Science by Graduates from Pharmaceutical Sciences at Medical Device Industries
and Regulatory Bodies

オーガナイザー：松岡 厚子

9:00~9:10	オーガナイザー挨拶	国立衛研 松岡 厚子
9:10~9:30 S26-1	レギュラトリーサイエンスの普及に向けて	国立医薬品食品衛生研 大野 泰雄
9:30~9:55 S26-2	最近の医療機器薬事行政のトピックスについて	厚生労働省 高江 慎一

9:55～10:20 S26-3	薬学要素が鍵を握る新しい医療機器評価	医薬品医療機器総合機構 池田 浩治
10:20～10:45 S26-4	都道府県が行う薬務行政について	埼玉県保健医療部薬務課 澤田石 勝也
10:45～11:10 S26-5	医療機器における安全性情報について ―医薬品との違い―	東レ 城 宣伸
11:10～11:35 S26-6	医療機器分野における薬学系人材の役割と展望	日本光電工業 山本 博史
11:35～12:00 S26-7	医療機器臨床試験における治験・臨床試験コーディネーターの役割	東京女子医大病院 長沼 美代子

3月31日（土）9:00～12:00 E01会場 高等教育推進機構 E棟2F E214

一般シンポジウム S27

血栓性疾患の早期発見とその予防および治療への新たなチャレンジ

Detection, Prevention, and Treatment of Vascular Diseases Related to Thrombosis

オーガナイザー：板部 洋之, 厚味 巖一

9:00～9:05	はじめに	昭和大薬 板部 洋之
9:05～9:35 S27-1	プラーク不安定性と血液バイオマーカー	大阪市立総合医療セ 成子 隆彦
9:35～10:00 S27-2	動脈硬化の初期病変と酸化ストレス	昭和大薬 加藤 里奈
10:00～10:30 S27-3	抗リン脂質抗体症候群の診断と治療の進歩	北大院医 渥美 達也
10:30～11:00 S27-4	新規脳梗塞モデルの確立および醗酵代謝物の薬効評価	昭和大薬 橋本 光正
11:00～11:30 S27-5	血栓を作りにくくする天然物成分同定の試み	帝京大薬 厚味 巖一
11:30～12:00 S27-6	新規抗凝固薬の現状と展望：トロンビン阻害薬とXa因子阻害薬	東女医大 長尾 毅彦

3月31日(土) 9:00~11:00 E23会場 高等教育推進機構 E棟3F E301

一般シンポジウム S28

根拠に基づく医療(EBM)をサポートするための実験技術の開発と評価系の確立

Development of Experimental Techniques and Evaluation to Support Evidence-Based Medicine (EBM)

オーガナイザー：田頭 秀章, 小堀 宅郎

9:00~9:05

オーガナイザー挨拶

東北大院薬 田頭 秀章

9:05~9:25

S28-1

植物抽出混合物の抗腫瘍作用について

福岡大薬 比留間 航

9:25~9:45

S28-2

ラット腸間膜動脈におけるコリン作動性神経の分布と機能

岡山大院医歯薬 Panot TANGSUCHARIT

9:45~10:05

S28-3

ドコサヘキサエン酸による抗侵害作用の発現機序の解明

神戸学院大薬 西中 崇

10:05~10:25

S28-4

新生仔期腹側海馬(NVH)損傷ラットにおける認知機能障害のメカニズム

東北大院薬 矢吹 梯

10:25~10:45

S28-5

チペピジンの急性投与は、ラット脳内でc-Fos様免疫蛋白質の特徴的な発現パターンを示す

熊本大院環境分子保健学 河原 遼

10:45~11:00

総合討論

3月31日(土) 9:00~11:00 E18会場 高等教育推進機構 E棟3F E308

一般シンポジウム S29

鼻腔内投与による脳機能治療の可能性

A Possibility of the Manipulation of Brain Functions by Intranasally Administrated Drugs

オーガナイザー：柏柳 誠, 井関 健

9:00~9:05

オーガナイザー挨拶

旭川医大医 柏柳 誠

9:05~9:25

S29-1

嗅上皮の特性と鼻腔投与したポリペプチドの中樞神経に対する作用

旭川医大医 柏柳 誠

9:25~9:55

S29-2

ウイルス感染と粘膜免疫

北大人獣セ 高田 礼人

9:55~10:25

S29-3

インスリンの経鼻デリバリーに関する基礎的研究

城西大薬 関 俊暢

10:25~10:55

S29-4

嗅覚障害と嗅神経輸送機能の臨床診断

金沢医大耳鼻咽喉科 志賀 英明

10:55～11:00

総括

北大院薬 井関 健

3月31日(土) 9:00～12:00 E12会場 高等教育推進機構 E棟3F E310

一般シンポジウム S30

これからの医療のかたち～在宅医療と薬剤師・薬局のあるべき姿を探る

The Future Forms of Medical Services

—Seeking the Ideal Conditions of Home Medical Care and Pharmacists/Pharmacies

オーガナイザー：古田 精一，狭間 研至

9:00～9:05

オーガナイザー挨拶

北海道薬大 古田 精一

9:05～10:05

S30-1

社会構造変化と今後の薬剤師のあるべき姿

ファルメディコ 狭間 研至

10:05～10:35

S30-2

地域における医療連携—理想的な薬業連携とは

東戸塚記念病院 宮崎 美子

10:35～11:05

S30-3

薬剤師教育の在り方とその現状

北海道薬大 坂東 勉

11:05～11:15

休憩

11:15～12:00

討論・診てみよう、これからの在宅薬剤師・まとめ

ファルメディコ 狭間 研至

3月31日(土) 9:00～12:00 F1会場 高等教育推進機構 S棟1F S1

一般シンポジウム S31

天然物パワー3～自然に学ぶ

Power of Natural Products 3: Learning from Nature

オーガナイザー：塚本 佐知子，石橋 正己

9:00～9:30

S31-1

ユビキチン-プロテアソームシステムを標的とする創薬研究

熊本大院薬 塚本 佐知子

9:30～10:00

S31-2

猛毒きのこニセクロハツの毒成分研究から学んだこと

京都薬大 橋本 貴美子

10:00～10:30

S31-3

変形菌成分に学ぶ

千葉大院薬 石橋 正己

10:30～11:00

S31-4

海洋危険生物の刺毒を研究してわかってきたこと

東京海洋大 永井 宏史

11:00～12:00

S31-5

創薬リードとしての天然物を考える

神奈川大理 上村 大輔

3月31日（土）9:00～11:00 F2会場 高等教育推進機構 S棟2F S2

一般シンポジウム S32

遺伝子治療薬・核酸医薬の創製に向けた障壁とその克服戦略

Obstacles and Approaches to the Development of Gene Therapy and Nucleic Acid-Based Drug

オーガナイザー：清水 かほり，安藤 満

9:00～9:05

趣旨説明

阪大院薬 清水 かほり

9:05～9:30

S32-1

RNA創薬研究におけるポジロン標識siRNAのPET体内動態イメージング

静岡県大院薬 安藤 英紀

9:30～9:55

S32-2

筋ジストロフィー治療に向けた超音波核酸デリバリーシステムの開発

東京薬大薬 濱野 展人

9:55～10:20

S32-3

ミトコンドリアを標的とした遺伝子治療に向けて

北大院薬 古川 亮

10:20～10:40

S32-4

機能性ペプチド融合によるIFN- γ 時空間制御

京大院薬 安藤 満

10:40～11:00

S32-5

マイクロRNAを利用してウイルス遺伝子の非特異的な発現を抑制可能な新規アデノウイルスベクターの開発

阪大院薬 清水 かほり

3月31日（土）9:00～12:00 B1会場 学術交流会館2F 講堂

一般シンポジウム S33

創薬を目指す核磁気共鳴（NMR）：現況と展望

NMR Aim at Drug Discovery: Present and Future

オーガナイザー：西島 和三，清谷 多美子

9:00～9:05

はじめに 「創薬に貢献する先端研究施設への期待」

持田製薬 西島 和三

9:05～9:30

S33-1

NMRによるエピゲノム関連天然変性タンパク質の構造解析と結合化合物スクリーニング

横浜市大院 西村 善文

9:30～10:00

S33-2

理研横浜NMR施設と立体構造解析パイプラインの研究・開発への活用

理研生命分子 木川 隆則

10:00～10:30

S33-3

NMRによるメタボローム情報の創薬への利用：有効性・安全性評価のためのメタボロミクス

国立衛研 福原 潔

10:30～11:00 S33-4	低分子創薬を目指すNMR	第一三共 半沢 宏之
11:00～11:30 S33-5	高分子創薬のためのNMR利用	中外製薬 鳥澤 拓也
11:30～11:55 S33-6	NMRによる膜タンパク質の機能解明	東大院薬/産総研バイオメディシナル情報研セ 嶋田 一夫
11:55～12:00	おわりに 「創薬を目指すNMRへの期待」	昭和薬大 清谷 多美子

3月31日(土) 13:30～15:30 C会場 高等教育推進機構1F N1

一般シンポジウム S34

生活や環境を支える分析手法の新機軸とその動向

Trends in Analytical Techniques for Human Life and Environment

オーガナイザー：小椋 康光, 五十嵐 良明

13:30～14:00 S34-1	遺伝子組換え食品の検査法の動向と課題	国立衛研 穂山 浩
14:00～14:30 S34-2	ごはんの「おいしさ」の新たな評価法の開発について	農研機構 食総研 大倉 哲也
14:30～15:00 S34-3	化粧品試験法の最近の動向	昭和薬大 藤井 まき子
15:00～15:30 S34-4	核内受容体を介した化学物質の検出	岐阜薬大 中西 剛

3月31日(土) 13:30～15:30 D会場 高等教育推進機構1F N2

一般シンポジウム S35

第7回若手が拓く新しい薬剤学—代謝酵素・トランスポーター分子論に基づいた薬物間相互作用予測—

Frontier Pharmaceuticals to Be Explored by Young Scientists: Prediction of Drug-Drug Interactions Based on the Molecular Characteristics of Drug Metabolizing Enzymes and Transporters

オーガナイザー：楠原 洋之, 井上 勝央

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶	東大院薬 楠原 洋之
13:35～13:55 S35-1	メタボローム解析に基づいた薬物間相互作用研究	東大院薬 楠原 洋之
13:55～14:15 S35-2	薬物間相互作用に関わるトランスポーター機能の迅速評価	名市大院薬 井上 勝央

14:15～14:35 S35-3	医療現場における薬物間相互作用の網羅的な予測と注意喚起の重要性 東大病院薬 大野 能之
14:35～14:55 S35-4	薬物間相互作用研究への Positron Emission Tomography (PET) の応用 理研分子イメージング 高島 忠之
14:55～15:15 S35-5	H ⁺ /有機カチオンアンチポータ MATE1 の機能低下による副作用発現の増強 京大病院薬 米澤 淳
15:15～15:30	総括

3月31日（土）13:30～15:30 E01会場 高等教育推進機構 E棟2F E214

一般シンポジウム S36

次世代型経口製剤に求められる臨床的機能性

Clinical Functions Demanded for Next-Generated Oral Dosage Formulations

オーガナイザー：内田 享弘，並木 徳之

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶 武庫川女大薬 内田 享弘
13:35～13:55 S36-1	次世代に求められる経口製剤の開発とは アステラス製薬製剤研 迫 和博
13:55～14:15 S36-2	医療用経口配合剤の患者ベネフィット 武田薬品工業CMC研セ製剤技術研 仲野 慶則
14:15～14:35 S36-3	口腔内速溶解フィルムに潜在する製剤開発のシーズ 岐阜大病院薬 伊藤 善規
14:35～14:50 S36-4	経口製剤の服用性の客観評価 武庫川女大薬 内田 享弘
14:50～15:10 S36-5	小児用経口製剤の現状と求められる姿 国立成育医療研セ 小嶋 純
15:10～15:25 S36-6	次世代型経口製剤に求められるハイエンド化 静岡県大薬 並木 徳之
15:25～15:30	総括 静岡県大薬 並木 徳之

3月31日(土) 13:30~15:30 E23会場 高等教育推進機構 E棟3F E301

一般シンポジウム S37

薬剤師を真の“ゲートキーパー”とするために ~薬剤師が潜在的な精神科疾患や過量投与、自殺をピックアップできるようになるためにはどうすることが必要か~

Pharmacist as a Real "Gatekeeper" for the Prevention of Suicide, Overdosage and Depression; What Should We Need?

オーガナイザー：川村 和美, 大澤 匡弘

13:30~13:35

オーガナイザー挨拶

名市大院薬 大澤 匡弘

13:35~14:00
S37-1

我が国の自殺の現状と自殺予防に期待する薬剤師の役割

精神・神経医研セ 松本 俊彦

14:00~14:25
S37-2

向精神薬乱用・依存の予防に薬局薬剤師はどのように関われるか

精神・神経医研セ 嶋根 卓也

14:25~14:50
S37-3

医師の処方の変更を指示する薬剤師を目指して~薬剤師の新たな役割を提案する~

信愛クリニック 井出 広幸

14:50~15:15
S37-4

悩める国民を適切な医療に結びつけるための教育や方法とは

スギメディカル 川村 和美

15:15~15:25

全体の質疑応答

名市大院薬 大澤 匡弘

15:25~15:30

総括

スギメディカル 川村 和美

3月31日(土) 13:30~15:30 E18会場 高等教育推進機構 E棟3F E308

一般シンポジウム S38

地域におけるプライマリ・ケアの実践に向けて

Approach of Primary Care in Community Pharmacies

オーガナイザー：吉山 友二, 野田 敏宏

13:30~13:40
S38-1

薬局におけるプライマリ・ケアの実践

北里大薬 吉山 友二

13:40~14:10
S38-2

患者中心医療の実践とプライマリ・ケア薬剤師への期待

北海道家庭医療学セ 草場 鉄周

14:10~14:40
S38-3

Advancing Community Pharmacist Practice

アイオワ大薬 Bernard SOROFMAN

14:40~14:55
S38-4

プライマリ・ケアを実践する薬剤師のための漢方学習方法

名市大院薬 牧野 利明

14:55~15:10
S38-5

サプリメントの利用とモニタリングに対する啓発活動

二十四軒薬局 高市 和之

15:10～15:25 S38-6	プライマリ・ケア実践に向けた服薬指導支援ツールの活用	十仁薬局 高橋 正幸
15:25～15:30	総括	北海道薬剤師会 野田 敏宏

3月31日（土）13:30～15:30 E12会場 高等教育推進機構 E棟3F E310

一般シンポジウム S39

災害時医療における薬剤師の役割 ～東日本大震災支援活動に基づく提言～
The Role of Pharmacist on Disaster Medicine

—Proposal Based on the Relief Works on the East Japan Great Earthquake—

オーガナイザー：野呂瀬 崇彦，名倉 弘哲，廣川 重男

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶	北海道薬大 野呂瀬 崇彦
13:35～13:55 S39-1	災害直後の医療における薬剤師役割、求められる知識とスキル	岡山大院医歯薬 名倉 弘哲
13:55～14:15 S39-2	災害時に学んだ多職種協働 ～人と人がつながっていく～	よつ葉薬局 笠原 徳子
14:15～14:35 S39-3	医師の目から見た災害時における薬剤師の役割、平時の医療において取り組むべきこと	栄町ファミリークリニック 松田 諭
14:35～14:55 S39-4	薬学教育における災害時医療教育のあり方	岡山大院医歯薬 森山 芳則
14:55～15:20 S39-5	大規模自然災害時の薬剤師の役割—被災地、石巻からの報告—	石巻薬剤師会 丹野 佳郎
15:20～15:30	総括	北海道薬大 野呂瀬 崇彦

3月31日（土）13:30～15:30 F1会場 高等教育推進機構 S棟1F S1

一般シンポジウム S40

プラスαの薬剤師専門性教育

Becoming a Real Clinical Pharmacist: Professional Pharmacy Education for Better Medication

オーガナイザー：笠師 久美子，柴山 良彦

13:30～13:50 S40-1	スポーツ薬理学からみた薬剤師専門性教育	北大病院薬 笠師 久美子
13:50～14:10 S40-2	卒後教育における薬剤師専門教育	北大薬／北大病院薬 柴山 良彦

14:10～14:40 S40-3	日本におけるICU専門薬剤師教育の可能性	聖マリアンナ医大病院薬	前田 幹広
14:40～15:10 S40-4	感染制御薬剤師からみた薬剤師職能教育	長崎大病院薬	北原 隆志
15:10～15:30	総合討論		

3月31日（土）13:30～15:30 F2会場 高等教育推進機構 S棟2F S2

一般シンポジウム S41

ウイルスを利用した医療・創薬研究の新展開—ウイルスは貴重なバイオマテリアル—
New Approaches to Drug Discovery Research and Medical Treatment Using Viruses
—Viruses Are Valuable Biomaterials—

オーガナイザー：櫻井 文教，近藤 昌夫

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶	阪大院薬	櫻井 文教
13:35～13:55 S41-1	次世代型制限増殖アデノウイルスを利用した血中循環癌細胞検出法の開発	阪大院薬	櫻井 文教
13:55～14:20 S41-2	ウイルス工学を応用した難治がん標的医薬の開発 大阪府立成人病セ／肉腫中皮腫先端治療研セ		山村 倫子
14:20～14:40 S41-3	アデノウイルスベクターを利用したC型肝炎研究の新展開	阪大院薬	近藤 昌夫
14:40～15:05 S41-4	「粘膜免疫による交叉防御」と「ワクチン用種ウイルス」に焦点を当てた次世代インフルエンザワクチン研究	医薬基盤研	岡本 成史
15:05～15:30 S41-5	ウイルスによる自然免疫活性化とその抑制機構	北大院医	押海 裕之

3月31日（土）13:30～15:30 B2会場 学術交流会館1F 小講堂

一般シンポジウム S42

妊娠時薬物療法に関わる基礎と臨床の情報共有機会拡大に関する提言
Recommendation of Clinical and Basic Joint Meetings Regarding Medical Therapy During Pregnancy

オーガナイザー：池田 賢二，稲田 拓

13:30～13:35	オーガナイザー挨拶	大阪大谷大薬	池田 賢二
13:35～13:55 S42-1	胎児リスクカテゴリーと胎児安全性情報	虎の門病院薬	林 昌洋

13:55～14:15 S42-2	医薬品開発における実験動物を用いた生殖発生毒性評価	大日本住友製薬 稲田 拓
14:15～14:35 S42-3	妊婦に対する服薬指導 —抗てんかん薬—	虎の門病院薬 山根 律子
14:35～14:40	休憩	
14:40～15:00 S42-4	医薬品の胎児移行性評価に適う細胞層モデルの検討	大阪大谷大薬 池田 賢二
15:00～15:20 S42-5	アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤（ARB）の胎児への影響	大阪母子保総合医療セ薬 前田 葉子
15:20～15:30	総括（総合討論）	

スポンサードシンポジウム Sponsored Symposium

3月30日（金）9:00～12:00 B2会場 学術交流会館1F 小講堂

スポンサードシンポジウムSS01

食品中の呈味成分の健康価値を探る

Health Benefit of Taste Active Compounds in Foods

オーガナイザー：畝山 寿之, 笹野 高嗣

9:00～9:05	オーガナイザー挨拶	
9:05～9:30 SS01-1	味覚測定の実際	味の素イノベ研 畝山 寿之
9:30～9:55 SS01-2	ポータブル・グルタミン酸計の開発	味の素イノベ研 河合 美佐子
9:55～10:20 SS01-3	味刺激が嚥下誘発に及ぼす影響	タニタ 伊藤 成史
10:20～10:45 SS01-4	味覚反射を応用したドライマウス治療の試み	新潟大院医歯 山村 健介
10:45～11:10 SS01-5	呈味成分による消化管運動調節	東北大院歯 笹野 高嗣
11:10～11:35 SS01-6	がん患者の栄養管理—現状と未来	群大病院 草野 元康
11:35～12:00 SS01-7	口腔咽頭感覚をターゲットにした抗誤嚥薬の開発	がんセ中央病院 桑原 節子
		東北大院医 海老原 覚